

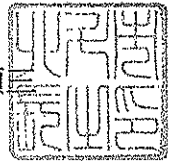


北 土 木 第 72号

平成19年 4月26日

国土交通省道路局長様

北斗市長 海老澤 順



中期的な計画の作成にあたっての意見提出について

先に依頼のあった表記について当市の意見を提出いたしますのでよろしくお取り計らいお願いいたします。

I 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

北海道は国土の22%をしめる広大な面積を有し、広域分散型の地域生活経済圏が形成されていますが、道路をはじめとする社会資本の整備状況は全国と比較して未だ十分とは言えない状況にあります。まだまだ必要な道路のための財源をしっかりと確保しつつ、以下のような政策を重点的、優先的に進める必要があります。

1. ネットワークの戦略的整備・活用

北海道の物流は陸、海、空の玄関口である道南を経由して運び出されており、輸送に係る機能向上は地域の大きな課題となっているところです。

また、大規模地震、大雨災害等の際の物資搬送、避難路の確保とともに、道南の特殊性として医療について函館市に依存するケースも多く、救急患者の搬送など、住民が豊かで安心して暮らせる生活の実現を図るうえでも道路整備が必要なものと考えます。

今後開業する北海道新幹線新駅と渡島・檜山両支庁を結び、高速交通体系の形成のための函館・江差自動車道の整備促進、さらには函館都市圏で深刻化する交通混雑を緩和しつつ南北北海道の産業経済の活性化と圏域の一体的な振興を図る上で地域高規格道路函館新外環状道路の整備が不可欠となっております。

また、北海道の産業・経済、文化の集中する道央圏と南北北海道を結ぶ北海道縦貫自動車道整備が進められてきておりますが、未供用の区間が残されており、より一層整備を促進する必要があります。

これらの道路ネットワークは地域の産業、経済面や観光・レクリエーション面でのポテンシャルを向上させるとともに、医療・福祉といった生活面での利便性の向上がはかられ、加えて北海道新幹線の開業効果を全道に発現させる効果も期待されるものであり、このようなネットワークの戦略的な整備や活用を

図る道路政策が必要不可欠です。

2. 生活道路の充実

北海道においては、公共交通機関の充実が十分とは言えず、自動車交通が主要な交通手段となっております。

反面、生活道路の現況をみると、充実しているとは言い難い状況であり、生活道路の二次改築や歩道の整備についての市民ニーズは依然として非常に高いものとなっているため市民の安全や生活の安定をはかるためにも生活道路の整備が必要となっております。

3. 渋滞対策

函館都市圏（函館市、北斗市、七飯町）は慢性的な交通混雑が発生しており、住民の普段の移動時間の増加や、沿道の環境への悪影響が懸念されているところです。特に冬期間は自動車利用が増えることや路面状況の悪化などにより交通混雑が深刻化し、住民生活にも影響が出ています。ハード対策としての函館・江差自動車道、函館新外環状道路をはじめとする道路整備や、交差点の改良を促進しつつ、公共交通の利用促進策や適切な情報提供などソフト対策を進め、都市圏の渋滞緩和を図ることが重要です。

4. 道路除雪など道路の雪対策

北海道は豪雪地帯であり、道路除雪をはじめとする雪対策により、冬期間の生命線となっている道路交通を確保することが至上命題となっております。特に平成18年豪雪においては、平年を大きく上回る積雪のために市民生活に大きな影響があり、道路除雪をはじめとする雪対策の重要性が改めて認識されたところです。まずは市民の足を確保することが大切であり、地域の安全安心の基礎となる道路の雪対策が必要不可欠です。

冬期間は道路の凍結や圧雪アイスバーンにより、スリップの危険が高まり、夏に比べて車のスピードも著しく低下し交通混雑が深刻化します。冬期間の混雑緩和や交通事故対策として、適切に除雪、凍結防止を図るとともに、歩道の確保や道路の状況に応じた適切な情報の提供が重要です。

5. 橋梁など構造物の耐震性の確保、長く安全に使える道路の整備

地域住民が普段何気なく使っている道路の橋梁をはじめとする構造物の中には、利用者が気づかないうちに更新時期を迎えつつあるものや、補修が必要なものが急速に増加していると考えられます。計画的、効果的に補修などを進めるための現状調査や具体的な補修による耐震性の確保、長く安全に使える道路

の整備が必要不可欠です。(橋梁など構造物の補修や耐震補強、落橋の防止)

6. 防災対策

北斗市の国道228号には通行規制区間があり、気象条件によって通行止めにするなど利用者の安全を図るための措置がなされています。また、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策に関する特別措置法に基づき、北斗市は防災対策を推進する必要がある地域として指定されています。災害により被害が発生した場合、迅速な復旧・復興に繋がる対策を適切に講ずることが重要です。

II 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

道路の整備には地域の理解、協力が必須となっております。このため地域住民に分かりやすい道路事業を進めるため、透明性の確保、地域ぐるみで事業を円滑に進めるためのPR、情報提供などが重要です。また、貴重な財源を極力有効に使う観点から、徹底したコストの縮減を引き続き進めることが重要です。